

令和元年度 圏域別看護関係者連絡会議を開催しました

各圏域の看護関係者が、看護職員
目的：の確保・定着のため情報交換を
行い、相互の連携強化を図る。

開催日： 浜田圏域：8月30日(金)
松江圏域：9月11日(水)
益田圏域：9月30日(月)

参加者： 島根県・圏域の保健所・市町保健
福祉課担当・ハローワーク・病院
看護管理者・看護師等学校養成所
看護協会長・ナースセンター
移動ナースバンク看護就業相談員

【島根県医療政策課】

- 県内の看護職員数
看護職員はH28年度比+300人の12,536人であるが、必要数・現員数は地域偏在がある
- 看護職員需要増の主な要因
 - ・産休育休取得者の増加への対応
 - ・夜勤困難者の増加による夜勤人員の確保
 - ・時短勤務など多様な勤務形態導入による就労環境改善 などが考えられる
- 看護職員確保のための4つの柱
 - ①県内進学促進②県内修学促進
 - ③離職防止・再就業促進④資質の向上

【島根県ナースセンター】

- eナースセンター求人・求職登録状況、看護師等離職時の届出制度の登録状況の報告とどけるんへの登録依頼
- 移動ナースバンク(7か所)来所者の内訳、圏域の来所者の状況、就職先等の報告
- 看護協会内ナースセンター来所者の内訳、就職先等の情報提供及び再就業支援研修



【参加施設・行政・関係団体の情報交換】

- ハローワーク
 - ・各圏域の求人、求職者の状況について
 - ・ハローワーク浜田では長期研修制度を利用し准看護師養成学校への入学者あり
- 市町保健福祉課
 - ・地域枠での奨学金制度による就業促進
 - ・医療系学生とのイベント開催により就業促進
- 病院・学校・保健所
 - ・県の資料では看護職の充足率が99.4%と高いが、現場では実感はなく長期研修に出す余裕がない(浜田圏域)
 - ・年休5日間は取得できるよう対応(浜田圏域)
 - ・夜勤専従や2交替制勤務を導入し、夜勤人員の確保に努めている(松江圏域)
 - ・定年後再雇用や、有料職業紹介所を通して看護職の確保に努めている(松江圏域)
 - ・夜勤人員の確保に苦慮し、夜勤の負担が2極化している(益田圏域)
 - ・家族が働く職場を知るために、子供を職場に招待し仕事への理解を深めている(益田圏域)
 - ・保健所では地域医療構想の実現に向けた取り組みや、地元愛を醸成するために取り組んでいる
 - ・教育機関では学生確保の取り組みや、中途退学防止に向け支援している